

1 はじめに

「教育のまち・早島」では、子ども一人一人が輝く学校の実現に向け、「保幼小中一貫教育の推進」「SDGs（持続可能な開発目標）を踏まえたはやし学級の充実」「早島つ子を育てるシステムの拡充」を重点として、「自立・共生・郷土早島を愛する心」の育つ学校園を目指し、社会に開かれた教育課程の充実を図っています。

2 取組の内容

(1) 単元学習プログラムの構築

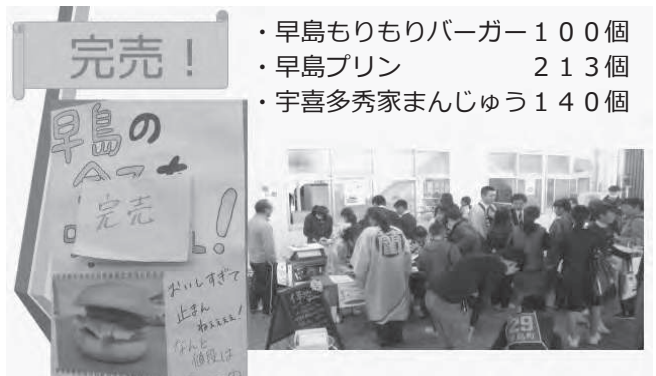
総合的な学習の時間を柱としたカリキュラム・マネジメントのもと、ESD（持続可能な開発のための教育）の視点で重視する六つの構成概念・七つの能力・態度に、非認知能力の「や



企画書の再検討

り抜く力」を含めて、各学年で「付けたい力」を明確にした単元学習プログラムを作成しています。ESDで育成すべき能力・態度とキャリア教育で育む基礎的・汎用的能力とを関連付け、それが自分の内面に向かえばキャリア教育であり、地域社会への貢献に向かえばESDにつながると思っています。そし

- ・早島もりもりバーガー 100個
- ・早島プリン 213個
- ・宇喜多秀家まんじゅう 140個



開発商品の販売（花ごぎピンポン世界大会）

て、SDGsを踏まえた地域課題解決学習に取り組むとともに、発達段階を踏まえた小中統一のグレード表を作成し、児童生徒の自己評価能力を育てることを大切にしています。

(2) 主体的・対話的で深い学び

2年生の「世界へ発信！商品開発プロジェクト」では、早島の現状や課題を明らかにして、ターゲットやコンセプトを明確にした企画書の作成から、地元企業を中心に情報収集を行った上で企業の意見も参考にしながら

ら自らアイデアを創り出し、地域への広報や発信方法について探究活動を行い、自らの考えにさらに磨きをかけます。こうして開発した商品についてプレゼンテーションや評価を積み重ね、商品化までの試行錯誤を体感することで、「やり抜く力」を育てます。

3 おわりに

こうした探究的な学習活動の充実、各教科の授業改善や学力向上にもつながっており、さらに地域社会と連携・協働する授業が増えることで、地域に学校応援団や理解者が増え、教員や生徒に早島への誇りや愛着が生まれています。

本年度も、学習したことを自己の生き方に活かし、持続可能な未来を拓く担い手となる社会人を育てるために、中学校区的全教職員が「チーム早島」として、校種を超えた連携プログラムや教科横断的な学習プログラムに取り組んでいます。

（校長 小野 秀明）